



無所属
政策派

発行人 小林伸行
住所 野比2-13-18
Fax 050-3737-3872
☎070-6640-3927
✉info@kobayashinobuyuki.com
Web www.kobayashinobuyuki.com

小林のぶゆき 検索

野比在住。昭和50年福島県生46歳。筑波大卒。早稲田大 公共経営大学院 修了。地域情報誌と環境コンサルティングに携わるが、地域の疲弊と日本の将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験合格、衆議院議員公設秘書を経て、2011年より横須賀市議。3期目。マニフェスト大賞でも最多受賞の政策派。野比小避難所副委員長。

総力特集

あなたの10万円、何に使いますか？

新港第二ふ頭378億円の投資は、のるかそるか？
「港が立派なまち」か？「教育が充実したまち」か？



特集

あなたの10万円、何に使いますか？

■赤ちゃんからお年寄りまで48万円ある！

2021年度の横須賀市の年間予算は1829億円*1でした。これを人口38万人で割ると市民1人あたり約48万円。つまり、自分のお財布の他に、みんなで使うお金として年間48万円持っている計算です。家族4人世帯なら192万円ということになりますね。

■ハコモノにはお金がかかる

*1 2021年度の最終
補正予算の額

こうして市民みんなが出し合った税金を使って、市役所では色々な仕事をしています。とりわけ公共施設は、投資額も維持費も大きく、何十年間も使うものなので、よく考えて投資する必要があります。

そして、「道路も病院も要らない」という人なんていませんが中には必要性に疑問の声が大きかった

横須賀市のハコモノ取得金額ランキング

順位	施設名	金額 (億円)	備考	取得 年度	床面積 (m2)
番外	新港第2埠頭(計画)	378	まだ計画段階。中止可能	2030年代見込	—
1	横須賀芸術劇場	377	駐車場・産プラ・サガセン等を含む	1993	20,484
2	本庁舎	124	1~3号館・別館・消防局・車庫を含む	1968~2001	48,758
3	横須賀総合高校	86	全施設	1966~2007	31,577
4	総合福祉会館	65		1992	16,317
5	ウェルシティ市民プラザ	53	保健所・駐車場・青少年の家など全て含む	2000	20,466
6	横須賀美術館	47	美術品約22億円等は含まず	2006	12,095
7	横須賀アリーナ(総合体育館)	39	メインアリーナとサブアリーナの両方	1978・1996	13,280
8	アイクル(リサイクルプラザ)	37		2000	20,914
9	ソレイユの丘(長井海の手公園)	36	建物以外の整備も含む。民間による公園PFI	2005	6,430
10	中央斎場	36		1992	4,641
11	南処理工場	34		1983~2003	20,937
12	はぐくみ館	25		2007	8,684
13	はまゆう会館	23		1983	4,589
14	大塚台小学校	23	体育館含む全施設。他校より高め	2002	10,594
15	勤労福祉会館(ヴェルクよこすか)	23		1990	6,120

公共施設もあります。とりわけ、芸術劇場、美術館、ソレイユの丘は、「ハコモノ3兄弟」とも呼ばれ選挙の争点にもなりました。学校やゴミ処理場のような、ないと困る必須の施設ではないので、評価が分かれるところです。とりわけ「長男」の芸術劇場377億円は別格で、維持費や金利も含めると、30年間で775億円かかりました。寿命をあと40年とすると、総額1100億円超の想定。市民1人あたり20万円を支払済で今後も8万円を負担する計算となります。

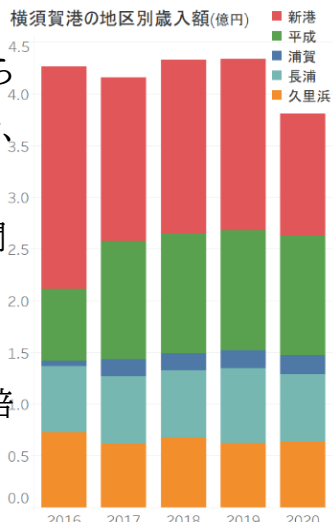
■新しい港は必要ですか？

さて現在、新港ふ頭の隣を埋立し第二ふ頭を整備する計画が進んでいます。投資額378億円。市民1人あたり約10万円の支出です。

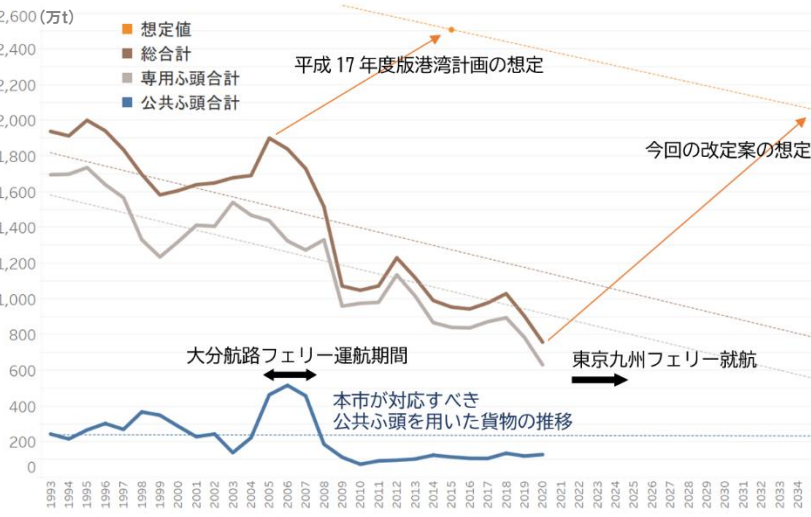
これは、歴代のどのハコモノよりも大型の投資となります。ソレイユの丘ならあと10カ所は造れますし、学校なら15校は建てられます。

もちろん、港は利用する船主らから使用料等が入ってくるので、それでガッポリ稼げるなら投資すべきです。ただし、過去5年間を見ると、横須賀港全体でも年4億円前後。新港だけなら1~2億円の年商ですから、今の10倍は稼がないと赤字でしょう。

裏面に続く→



横須賀港の取扱貨物量と想定値との乖離



■過去に学んで、未来に備えよう

また、今回、市の計画案では取扱貨物量が一昨年の760万tから2035年頃には2056万tへ増加すると想定しています。これは現実的な想定なのか？

論語の「温故知新」にならって、過去から学んでみましょう。上のグラフが、これまでの実績です。

2005年度の計画では、1900万tから2015年頃に約2500万tへ増加する。と見込んでいました。しかし、実際には半分にも満たない950万tに留まりました。当時は久里浜―大分のフェリーが就航して貨物量が増え、期待に胸をふくらませていた時期でした。しかし、フェリーは撤退。日産や横須賀火力発電所のような自前の「専用ふ頭」の貨物量も右肩下がり。市が整備する「公共ふ頭」の貨物量もフェリー撤退後は全体の17%と低空飛行……。

過去を見れば、未来への過度な期待は危険です。

■のるかそるか？ 賭けるべきか？

もちろん、今後は2025年に圏央道が釜利谷JCTまで開通予定で、国道357号線が八景島から夏島まで延びる計画もあります。2021年に新港―北九州のフェリーが就航したのも、京浜港と違って海の渋滞ポイントを通らなくても済む横須賀港の強みがあったから。確かに、追い風は吹いています。

しかし第二ふ頭計画は、次の3つのどれかが崩れれば、また過剰なハコモノとなるリスクがあります。

- (1)スバルさんの自動車輸出は今後も続くのか？
 - (2)採算ライン未達の現在のフェリーは続くのか？
 - (3)誘致予定の新しいフェリーは本当に来るのか？
- いわば第二ふ頭378億円は「のるかそるか？」の賭けの面があって、賭けに勝てば地域の活性化に大きな貢献をしたいと思います。一方で賭けに負ければ、国補助があっても芸術劇場と同様、多額の維持費と改修費で市民生活を圧迫することになります。

■「港が立派なまち」か「教育が充実したまち」か

「最もリターンの確実な投資は教育だ」とも言われます。子ども達への教育は、その子はもちろん市の将来も大きく左右します。また若い時に身に着けたスキルで一生食べていける時代でもないの大人の学び直しも重要です。どうでしょう？ 同じ10万円なら、私だったら賭けをするより、能力開発に投資したいと考えます。みなさんはどう思われますか？

第二ふ頭モンダイ勉強会を開催します！

タウンニュースで新港第二ふ頭の計画を取り上げたところ、「詳しく知りたいから、説明会などを開催してもらえないか？」との声を頂きました。そこで急遽、企画しました。

チェックするのが議員の第一の仕事ですから、まずは「本当に大丈夫か？」という視点で批判的に調べてきました。しかし、大成功する投資案件かもしれません。様々なお考えがあつていいと思います。なので、賛成の方も反対の方も、遠慮なくどうぞ。

●日時:2022年8月21日(日)13:30~15:30

●場所:総合福祉会館 5F 視聴覚研修室

※Zoomによるオンライン参加もOK

予約不要ですが事前にご連絡頂けると助かります

オンラインは小林HPかQRコードからどうぞ→



応援してください！

- チラシのポスティング
 - 駅でのチラシ手配り
 - ご自宅への看板設置
 - 学生インターン
- 常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思っ下さった方は、お気軽にご連絡下さい。
- ※政治献金・寄付は頂いていません。



小林のぶゆきの基本政策

- みえる** 誰が何をどう決めてるのか ぜんぜん見えない……。市政をガラス張りにして「見える化」、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。
- わかる** 難しい説明をされてもよくわからない……。いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。
- かわる** これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください

必ず私、小林伸行が自分で目を通します！

